

ユニセフカップ2017 芦屋さくらファンラン

2017年4月9日

実施レポート

「ユニセフカップ芦屋さくらファンラン」(主催/サンケイスポーツ、産経新聞社)が2017年4月9日(日)に開催され、全7種目で7,419人が出走しました。

今回より名称が変更になった本大会は「教育を世界すべての子どもたちに！」をテーマにユニセフ(国連児童基金)の活動を支援しており、日本ハム株式会社は2000年から特別協賛企業として参加しています。阪神間で生まれた多くの市民マラソンの先駆けとなり、「ファンラン」という言葉をランナーに広めるきっかけとなった大会です。

会場内では定番のチャリティー・フードショップをオープン。シャウエッセン®ポイルや大麦牛焼肉、グリーンスムージーやイミダの力を始め、新商品の桜姫®鶏塩から揚げや豊潤®入りレストラン仕様カレーなど、バラエティーに富んだメニューを展開。来場者に楽しんでいただくと同時にグループの事業領域の広さをお伝えしました。また、売り上げの一部は(公財)日本ユニセフ協会に寄付しました。

ニッポンハムグループは今後も「食」と「スポーツ」で、人々の心と体の元気を応援して参ります。



ユニセフへ寄付金を贈呈



号砲と共にランナーが飛び出していきます



いつも通りの大盛況。完売メニューも続出！



桜の下でランナーに「イミダの力」を配布



お馴染みハムリンズは子供たちから注目の的！